

平成29年度一般会計 補正予算（第3号）

《医療体制確保基金事業》

議員 今回、済生会病院を誘致するための基金へ5億円積み立てると、基金の総額は35億円になります。まずは、済生会病院の病院建設整備計画がどうなるのかということが、重要であります。市の最優先課題として、どのように取り組んでいるのかお伺いします。

市長 本件につきましては、非常に大きな課題であり、これまで円滑に進めるための情報公開、情報提供については適切に行ってきたとおりです。今回、特に大きな進展があったというわけではありませんが、この事業をさらに円滑に進めるとともに、済生会の皆様方の後押しをするために、財政支援として、基金に5億円を積み増しするものです。これで基金の額は35億円になります。35億円を支出する

ということを決定したわけではなく、財政支援をするための心構えとして、用意するものです。なお、施設整備計画については、出来るだけ早く済生会として決定していただきたいと考えております。

《小学校就学援助事業・中学校就学援助事業》

議員 来年度入学する小・中学校の新生児に対し、入学前に入学準備金を支給するためのもですが、対象者数と支給単価、支給時期及び認定方法についてお伺いします。

学校教育部長 小学校入学予定者については、新入学児童学用品費の支給単価が4万6000円で対象者は115人、中学校入学予定者については、新入学生徒学用品費の支給単価が4万7400円で対象者は116人を見込んでおります。また、支給時期については、小学校入学予定者は3月上旬ごろ、中学校入学予定者は2月上旬ごろを予定してお

ります。

なお、制度改正により、新入学児童生徒学用品費に限り、認定基準を前々年の所得に変更いたします。



平成28年度一般会計 決算認定

《土木費 橋りよう新設改良費》

議員 平成26年7月の道路法施行規則の改正で、橋りようの長寿命化の点検に関する基準が定められました。決算年度に業務委託で実施した460件の点検結果と対策、今後の点検予定についてお伺いします。

建設部長 健全性の診断結果は、健全性Ⅰの健全が278橋、健全性Ⅱの予防保全段階が156橋、健全性Ⅲの早期措置段階が22橋、健全性Ⅳの緊急措置段階が4橋となっております。この4橋については、

いずれも人命第一を考え、地域住民の方々のご理解を得て周知を図った上で、全て通行止め措置を講じております。

全橋りようの点検が完了する平成30年度末には、市内の全ての橋りようの健全性の状況が把握できることから、架設時期、交通量、災害時の緊急輸送道路、通学路などを考慮し、耐震化や修繕だけでなく、再配置、通行規制、廃止なども含めて検討しながら、改めて優先順位をつけ、整備計画を策定し、計画的に実施してまいりたいと考えております。



平成28年度国民健康 保険事業特別会計 決算認定

議員 国保事業は決算年度において通常業務とともに、来年度から埼玉県が県内の63市

町村と共同保険者となり制度を運営する国保の広域化を準備してきた年度となっております。国保の広域化に向けて、県当局の対応についてお伺いします。

健康医療部長 事業運営の基本となる埼玉県国民健康保険運営方針を作成するため、これまで埼玉県市町村国民健康保険広域化等推進会議を6回、埼玉県国民健康保険運営協議会を4回開催し、審議が進められてまいりました。パブリックコメントも終了し、現在、いただいた意見等をもとに、埼玉県国民健康保険運営方針（案）の修正を行っており、9月14日に開催される平成29年度第3回埼玉県国民健康保険運営協議会において、修正を完了した埼玉県国民健康保険運営方針（案）を審議する予定であるとのことでございます。

